

電波利活用セミナー2025 プログラム

日時：令和7年7月24日（木）13:30～16:30

時間	次第	講師
13:30	開会挨拶	九州総合通信局長 中西 悦子
13:35	講演 1 「Beyond 5G 時代におけるテラヘルツ波の利用に向けた国内外の動向と総務省の取組」 超高速・大容量、超低遅延が要求される 5G/6G の要素技術の一つとして掲げられるテラヘルツ波を利用した無線通信技術の実現が期待されており、国内外の最新動向やテラヘルツ利用に向けた総務省の取組について講演	総務省国際戦略局技術政策課 研究推進室長 井出 真司
14:15	講演 2 「テラヘルツ波を用いた月面の広域な水エネルギー資源探査」 人類活動が月近傍までのシスルナスペースに広がり始めている。活動にはエネルギーが必要である。テラヘルツ波リモートセンシング衛星を用いた月面サブサーフェスにおける水氷エネルギー資源の広域探査について講演	国立研究開発法人情報通信研究機構 Beyond 5G 研究開発推進ユニットテラヘルツ研究センター 研究統括 笠井 康子 氏
14:55	休憩 (10 分間)	
15:05	講演 3 「周波数ホッピングによる 300GHz 帯高セキュリティ高速無線通信の研究開発について」 5G よりもさらに強固なセキュリティが求められる Beyond 5G/6G の導入に向けて、周波数ホッピング通信技術をテラヘルツ波に適用させる研究開発を進めている「持続可能な電波の有効利用のための基盤技術研究開発事業 (FORWARD)」の研究内容について講演	九州大学 大学院システム情報科学研究院 助教 三上 裕也 氏
15:45	講演 4 「Beyond 5G/6G 時代に向けたテラヘルツ移動通信の屋外実証実験」 未来の社会を支える通信としてテラヘルツ帯の利用が検討されているが、実際の利用シーンを想像することが難しい。今回、300GHz 帯を用いた実証実験によって、走行する車両向けにテラヘルツ通信エリアを構築する実験を行い、その実用性を確認したことの講演	ソフトバンク株式会社 先端技術研究所 6G 準備室 室長 矢吹 歩 氏
16:25	閉会	